

# 重要ライフラインを保全

JERコンクリート  
補修協会

## 適材適所の工法選定

### 常に最適な技術を提案

JERコンクリート補修協会は、コンクリートの防食、補修、改修、材料、工法など関連技術を全て提案・提供できる、「コンクリート補修技術の専門技術者集団」として長く活動している。

工法によるコンクリート防食システムを取り扱っており、下水道コンクリート構造物の腐食環境条件や供用条件、維持管理特性等のユーザーニーズに応じた、最適な工法を選定できる。

全国で実績を積んできた。また、ここに携わる施工会社、材料製造会社による調査研究及び技術開発の成果の検証を行い、協会として技術の普及活動を実施してきた。現在JERコンクリート補修協会は、前身の

JER認定施工協会のいくつかの団体として、2016年6月に改名したものだ。同時に、協会内に分科会「管路部会」を設立し、下水道管路施設の長寿命化にも一層注力している。管路部会については2021年の12月に西日本支部が、22年1

月には東日本支部がそれぞれ発足した。各支部が設立されたことで都市部の管路やマンホール部の更生工事に、協会としての団体メリットを活かして、より迅速かつ組織的に対応できる体制が構築された。

対象となるのは下水道処理施設、管路施設、上水道施設、農業集落施設、農業用水路、橋梁、ダム等、多岐にわたるが、中でも特に

同協会の大きな特色として挙げられるのが、多種多様な材質と工法技術を取り揃えている点だ。日本下水道事業団のマニユアルに対応した塗布型ライニング工法、シートライニング工法、モルタルライニング工法をはじめとする様々な材質と

一般的に、下水道処理施設、管路、マンホールなどの下水道関連のコンクリート構造物については、耐腐食性、施工環境等に適合性の高い適材適所の材質、工法の特長が検討された選択が必要となる。

Ⅲ工法(低臭気タイプ無溶剤エポキシ樹脂系積層仕様)、シクコーTVE工法(ビニルエシ樹脂工法)を取り揃えている。

また、管路部会で、下水道用マンホールを対象に、シクコー工法(シートライニング工法)の技術をベースにした、複合マンホール更生工法及び「遮断性」「接着安定性」を併せ持った工法である。

腐食環境に合わせて最適な工法を選定できる

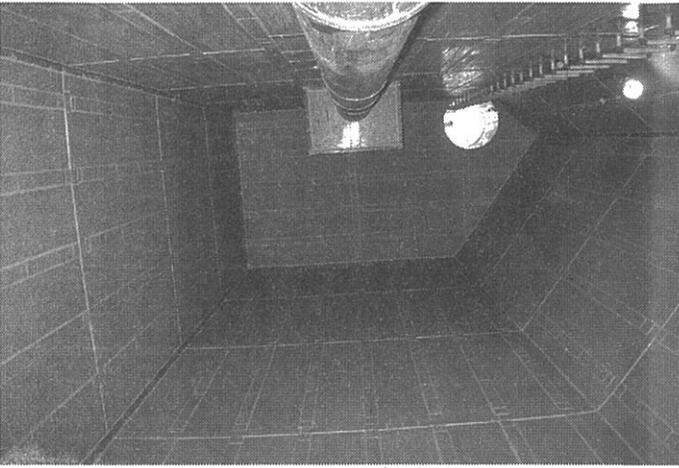
JERコンクリート補修協会の前身は、2002年に設立されたJER認定施工協会

塗布型ライニング工法では、シクコー

また、管路部会で、下水道用マンホールを対象に、シクコー工法(シートライニング工法)の技術をベースにした、複合マンホール更生工法及び「遮断性」「接着安定性」を併せ持った工法である。

JER認定施工協会の前身は、2002年に設立されたJER認定施工協会

## 専門集団として活動 管路の分野でも組織強化



腐食環境に合わせて最適な工法を選定できる

JER認定施工協会の前身は、2002年に設立されたJER認定施工協会

塗布型ライニング工法では、シクコー

また、管路部会で、下水道用マンホールを対象に、シクコー工法(シートライニング工法)の技術をベースにした、複合マンホール更生工法及び「遮断性」「接着安定性」を併せ持った工法である。

JER認定施工協会の前身は、2002年に設立されたJER認定施工協会